

県内景況情報

6月期

● 製造業

〈食料品〉

〔漬物製造業〕

昨年からの塩漬高菜の原材料不足（国産）により、一部の製品の注文を断る状況になっているので、売上が若干減少している。

〔乳製品製造業〕

酪農家の減少による原料乳不足が喫緊の課題である。また、今回の熊本地震が与える消費動向等も懸念される。

〔パン製造業〕

ほぼ横ばい状態。今夏は猛暑という予報なので、減少が心配である。

〈木材・木製品〉

〔木材製造業〕

4～6月の売上は昨年比90%。消費増税の延期や熊本地震による大工の移動（職人不足）で今後更なる厳しさが予想される。

〈窯業・土石製品〉

〔砂・砂利・玉石採取業〕

対前年比97%。当該地区（北九州・遠賀・苅田・筑豊地区）は、年度を通して、需要低迷を想定している中で、熊本地震の影響もあり、先行き不透明感を増している。

〈鉄鋼・金属〉

〔鋳物・鋳鉄業〕

今年の春ごろより、生産量が減少傾向にあり、先の受注予測は相変わらず立たないところに、英国のEU離脱による急激な円高は、マイナスの要因となる。

〈一般機械〉

〔一般機械器具製造業〕

受注状況は4月～5月は低調であったが、6月に入り回復傾向にある。電気使用量前年同月比110.0%（前々年同月比106.2%）

〈電機機器〉

〔電気機械器具製造業〕

円高傾向になり、輸出企業がらみの仕事が厳しくなっており、又中国への案件は減少している。

● 非製造業

〈卸売業〉

〔靴・履物卸売業〕

夏場の商戦に関しては、昨年と比べて単価の減少傾向がみられるようである。

〈小売業〉

〔燃料小売業〕

5、6月は、仕入れコストアップ分を価格転嫁できず、市況も低水準で推移した。よって、口銭不足を招き粗利益の悪化に大きく影響した。

〔鮮魚小売業〕

急速な円高は輸出物の減少につながるので、対策を打ってほしい。

〈商店街〉

〔久留米市〕

- ・プラザオープン景気が一段落し、人の流れが少し落ち着いた感じ。
- ・プラザテナント各店も昼の集客に対し、夜の集客に苦戦している。商店街ぐるみの催し物、タイアップ販促が必要。

〈サービス業〉

〔リネンサプライ業〕

地震の影響がまだ少し残っているが、徐々に観光地の客足も戻ってきているようである。

〈建設業〉

〔内装工事業〕

忙しさにかげりが見えてきた。昨年と比較して今一つの感。

〔建築工事業〕

元請としての受注はバラツキがあるが下請けも含めてみると全体的に受注増となっている。組合の共同受注は活発な動きとなっている。

〈運送業〉

〔一般貨物自動車運送業〕

6月も各組合員平均で売上・収益共に前年比増加となり、前月に引き続き原油価格が前年同月に比べ下がったことにより燃料コストが下がり、収益は前年比好転した。

福岡県の業種別D・I値の変化

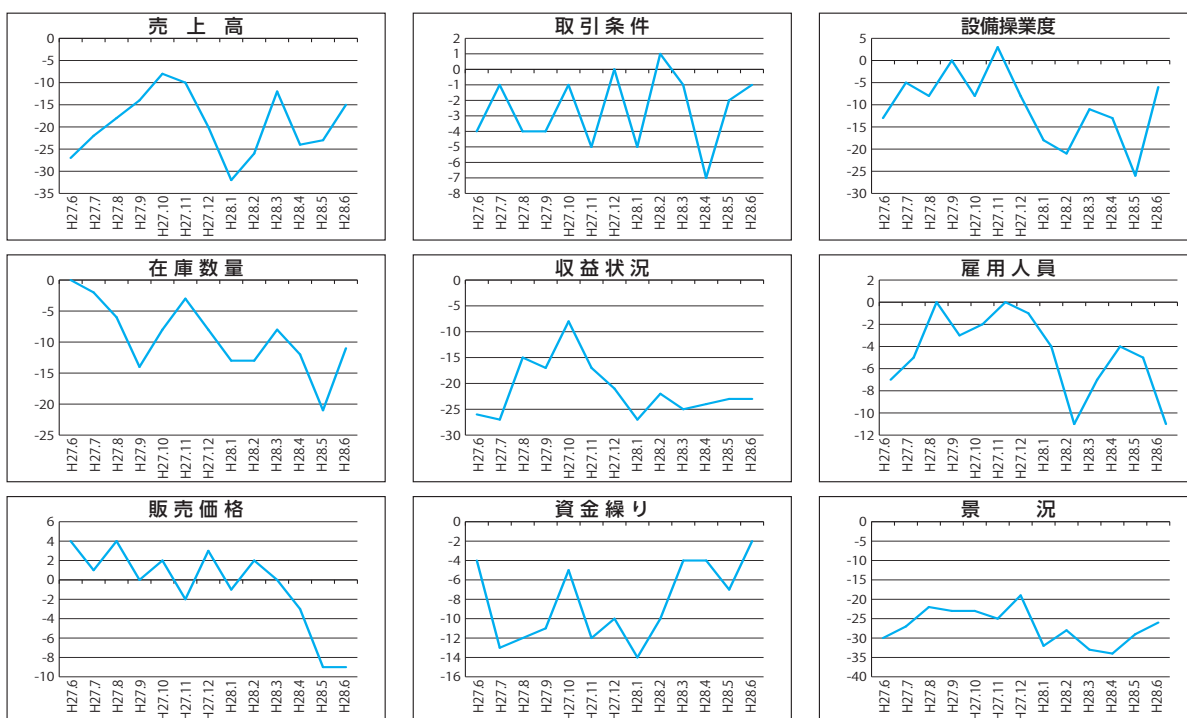
(福岡県中小企業団体中央会調査)

業種	項目	前年同月比								
		売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	景況
製造業	食料品	↓	→	→	→	→	→	→	→	→
	繊維・同製品	↓	→	→	→	→	→	→	↓	→
	木材・木製品	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	印刷	→	↓	→	↑	→	↑	→	↓	↓
	窯業・土石製品	↓	→	→	→	→	→	→	→	→
	鉄鋼・金属	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	一般機器	→	→	→	→	→	→	→	→	→
非製造業	電気機器	→	→	↓	↓	↓	→	↓	→	↓
	卸売業	↓	→	→	→	↓	→	—	→	↓
	小売業	↓	→	→	→	↓	→	—	→	→
	商店街	↑	→	→	→	→	→	—	→	→
	サービス業	→	—	→	→	→	→	—	→	→
	建設業	→	—	→	→	→	→	—	→	→
	運輸業	↓	—	→	→	↓	→	—	→	→
D・I		-15	-11	-9	-1	-23	-2	-6	-11	-26

↑ 増加・上昇・好転
 → 不変
 ↓ 減少・下落・悪化

D・Iとは・・・Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、企業の業況感や設備、雇用人員の過不足などの判断を指数化したものである。

●前月比D・Iの動きをみると、9項目中6項目が下降した。



全国中小企業団体中央会では、ホームページ上で月次景況調査(情報連絡員全国集計)を公開しておりますので、ぜひご覧下さい。

全国中小企業団体中央会ホームページ <http://www.chuokai.or.jp/>